

第7回TRIZシンポジウム

(TRIZ Symposium 2011 in Japan)

今こそ東日本大震災を乗り越え
-個人と組織のイノベーション力向上を!-

(2011年9月8日~9月10日、於：東芝研修センター)

開会にあたって

2011年9月9日

NPO法人日本TRIZ協会

理事長 林 利弘

所在地：〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-7 秋葉原イーストビル4階

TEL：03-5809-2413 FAX：03-5809-2412

E-mail：info@triz-japan.org URL：<http://www.triz-japan.org/>

開会の前に

東日本大震災での被災者の皆様へのお見舞い申し上げます。

また、
亡くなられた方々への哀悼の意を表し、
全員で15秒間の黙祷
をしたいと思います。

第7回TRIZシンポジウム開催の趣旨と狙い

1) TRIZとその関連分野での

- ・ 初心者・経験者各層へのセミナーの場（初日）
- ・ 適用・研究成果の発表・討論の場（2-3日目）
- ・ 関心あるテーマでの深い討論の場（初日夜）

を提供し、技術レベルの向上と普及・推進・適用の仕方の向上に資する。

2) 日本と世界のTRIZ関係者の交流の場を提供し、TRIZコミュニティの発展に資する。

3) 今回の主題：

-個人と組織のイノベーション力向上を！-

TRIZシンポジウムのこれ迄の経過 2011年8月26日現在

回次	主催	開催時期	開催場所	参加者	発表件数
第1回	日本 TRIZ 協議会	2005年9月	ラフォーレ修善寺	104名	20
第2回		2006年8月末	パナヒルズ大阪	157名	34
第3回		2007年8月末	東芝研修センター	204名	34
第4回	日本 TRIZ 協会	2008年 9月10日～12日	ラフォーレ琵琶湖 (滋賀県)	180名	46
第5回		2009年 9月10日～12日	国立女性教育会館 (埼玉県)	132名	42
第6回		2010年 9月9日～11日	神奈川工科大 (厚木市)	165名	40
第7回		2011年 9月8日～10日	東芝研修センター	113名	33

今回（第7回）シンポジウムの特徴

- 1) セミナーデイとコンファレンスデイの分割による、
多様な参加者ニーズへの効果的・効率的対応
 - ・ セミナーデイ：初心者向けチュートリアル、
経験者向けテーマ別セミナー、
先進者向けアドバンストセミナー の3つで構成
 - ・ コンファレンスデイ：従来通り、2パラレルセッションの壇上オーラル発表と
2つのインタラクティブポスターセッションで構成
- 2) グループ討論：4つの研究分科会のオープン討論会および
TRIZ導入・普及よもやま話、自由討論他
- 3) プレセッション：海外からの参加者との予備セッション
- 4) 招待講演：次頁スライド参照
- 5) 発表件数：33件（基調講演2件含む、セミナー講演6件除く）で前年並み。
内、海外から：8件（基調講演含む）
5カ国（タイ、韓国、米国、台湾、マレーシア）
- 6) 東日本大震災、特に福島原発問題を受けて、海外からの一般参加者の激減

第7回TRIZシンポジウム招待講演

基調講演：主要価値パラメータ：
ビジネスの挑戦を技術課題に結びつける
- Dr. Simon S. Litvin -
(GEN3 Partners, USA)

特別講演：等価変換理論：
その思考プロセスと適用
-鈴木俊介氏-
(等価変換創造学会、(株)経営技法)

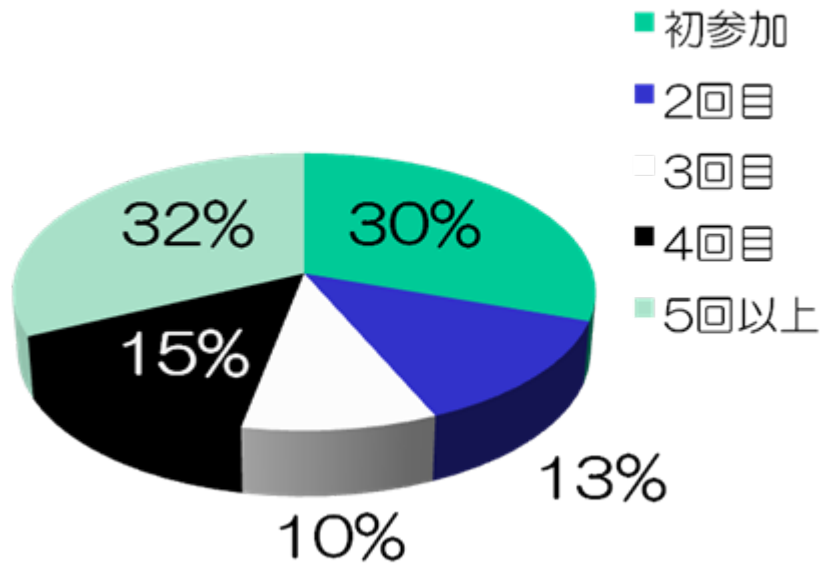
第1-7回TRIZシンポジウム発表者・参加者内訳推移

2011年8月26日現在

			2005 (1)	2006 (2)	2007 (3)	2008 (4)	2009 (5)	2010 (6)	2011 (第7回)
論文発表者	国内	大学/研究機関	1	6	3	4	5	6	→ 4
		一般企業	9	10	10	10	10	6	→ 5
		個人/研究会ほか	2	2	6	10	6	9	→ 9
		サービス提供者	5	5	5	8	7	5	→ 7
	海外	3	11	10	14	14	14	↘ 8	
	計	20	34	34	46	42	40	→ 33	
セミナー他				2	2	2	2	→ 7	
参加者 (講演者含む、 事前申込み ベース)	企業1-ザ (開発関係)		71	94	142	97	62	96 (40)	63 (4)
	教育・研究機関・ソサ		9	43	42	40	50	46 (8)	34 (5)
	ツルバツガ-		15	2	1	7	4	4 (0)	4 (0)
	その他 (知財/IT/個人ほか)		9	8	10	23	16	19 (0)	12 (0)
	計		104	147	195	167	132	165 (46)	113 (9)
シンポジウム終了時点の参加者				157	204	179	137 (海外 19)	165 (海外 46)	

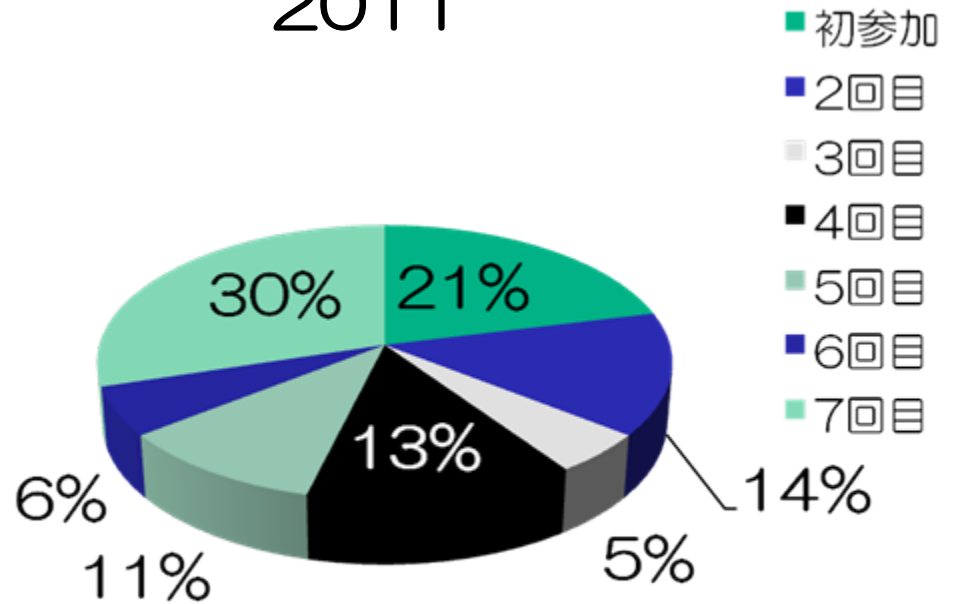
国内参加者プロフィール（参加履歴）

2010



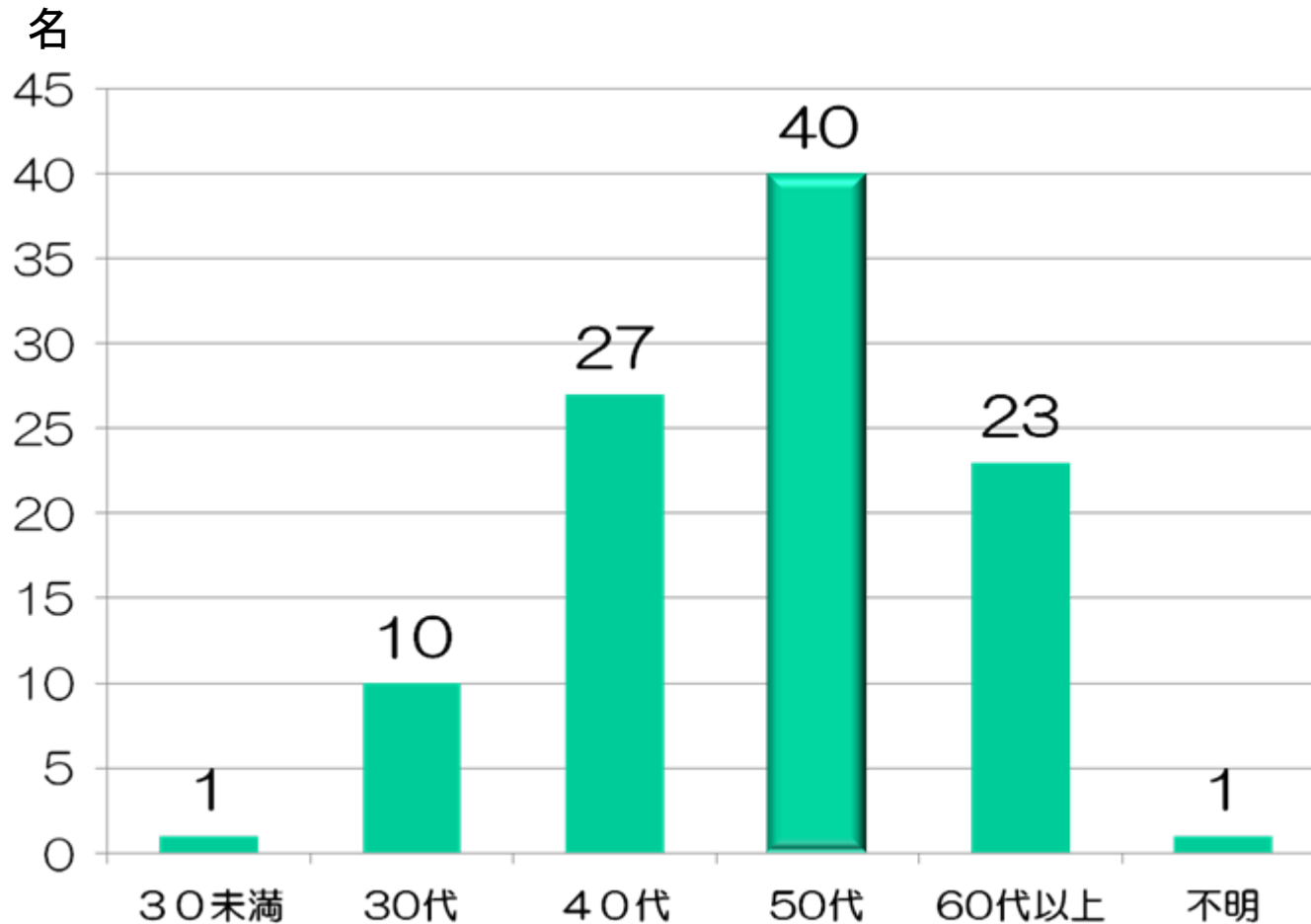
計115名

2011

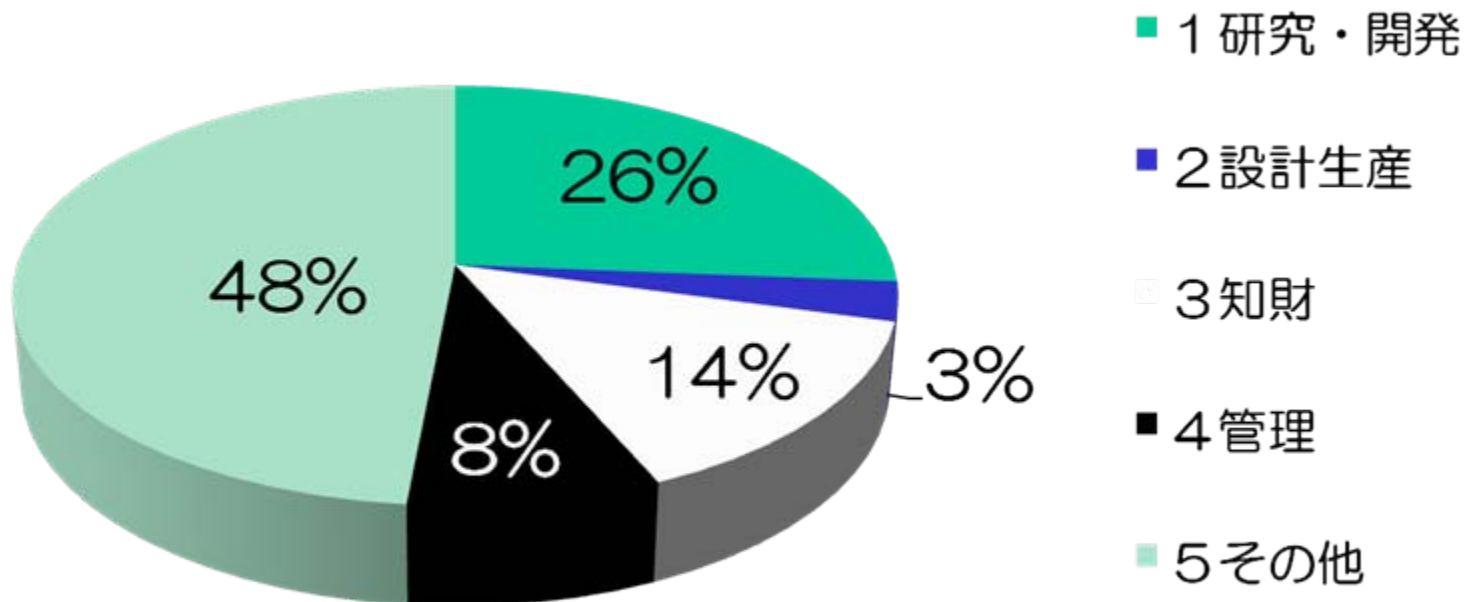


計104名

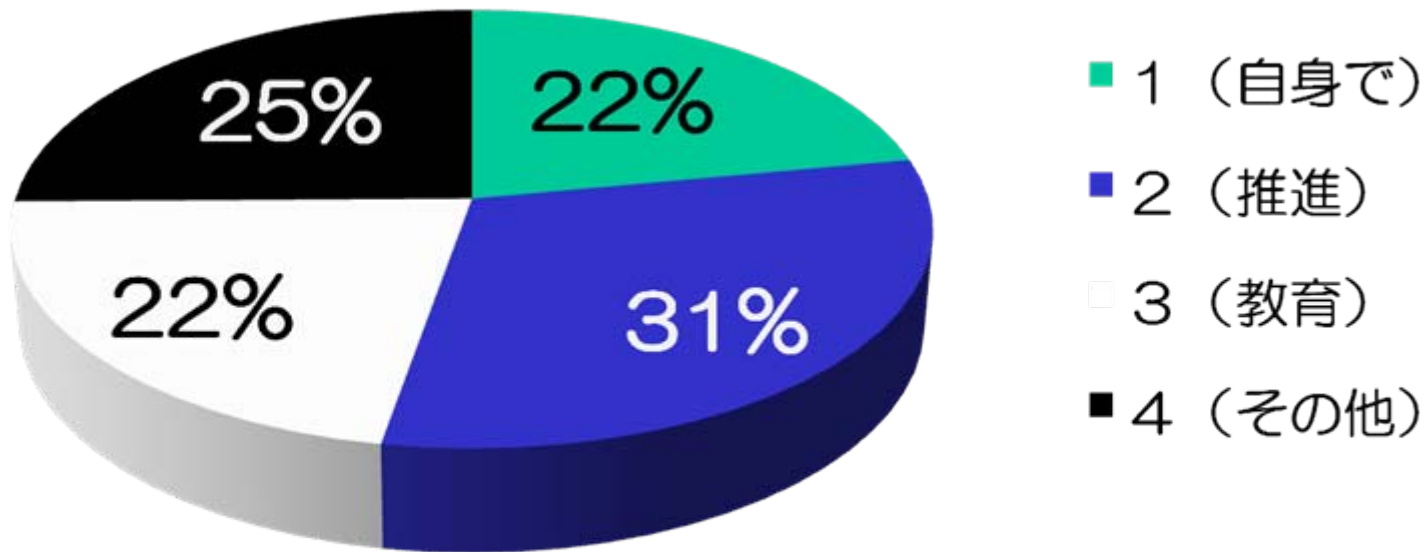
国内参加者プロフィール（年齢分布）



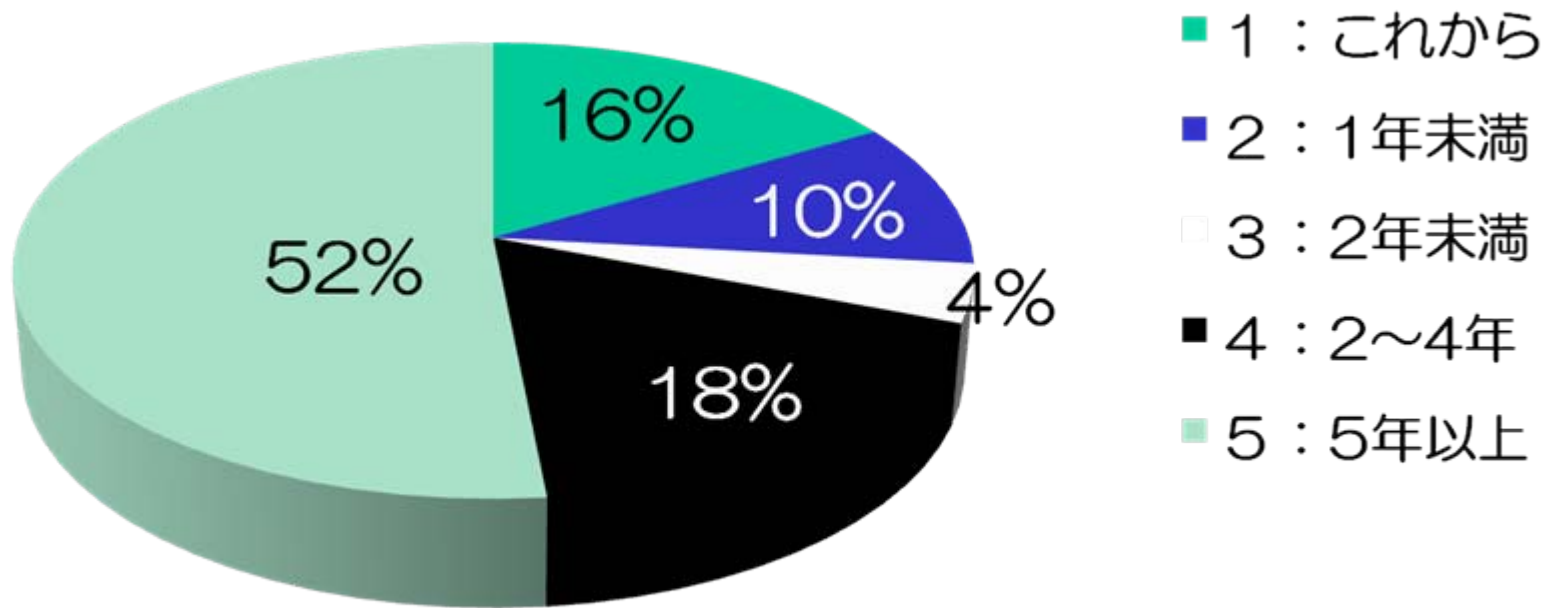
国内参加者プロフィール（職種分布）



国内参加者プロフィール (TRIZへの関わり)



国内参加者プロフィール (活用経験)



主催者：NPO法人日本TRIZ協会について

経過

- 2004年5月 : TRIZ懇話会発足
- 2005年1月 : 日本TRIZ協議会へ衣替え
- 2007年12月27日: NPO法人日本TRIZ協会正式発足

活動形態 : 会員ベースの公共的な
ボランティアベースの非営利法人活動

- 日本におけるTRIZ普及活動のセンターとして機能する。
- 我が国の技術開発力・国際競争力強化に資するため、活動をよりオープンで全国的なものにする。
- TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する。

NPO法人日本TRIZ協会の活動内容と 推進のための各委員会・事務局の分掌

活動内容

- ◆TRIZシンポジウム/セミナーの企画開催
- ◆研究会活動 / 教育 / 出版用コンテンツの開発

- 企画委員会：協会事業の企画立案
- 技術委員会：技術面での協会としてのオーソライズ、研究会統括
- 広報委員会：対外、対会員広報（HP運営含む）
- シンポジウム実行委員会：シンポジウムの企画・運営
 - ◆プログラム委員会：シンポジウムプログラムの公募とプログラム編成
- 西日本委員会：愛知県以西の活動推進（現在休止中）
- 東日本委員会：静岡県以東の活動推進（当面休止）
- 事務局：各種協会事業の実施運営

日本TRIZ協会の研究会活動について

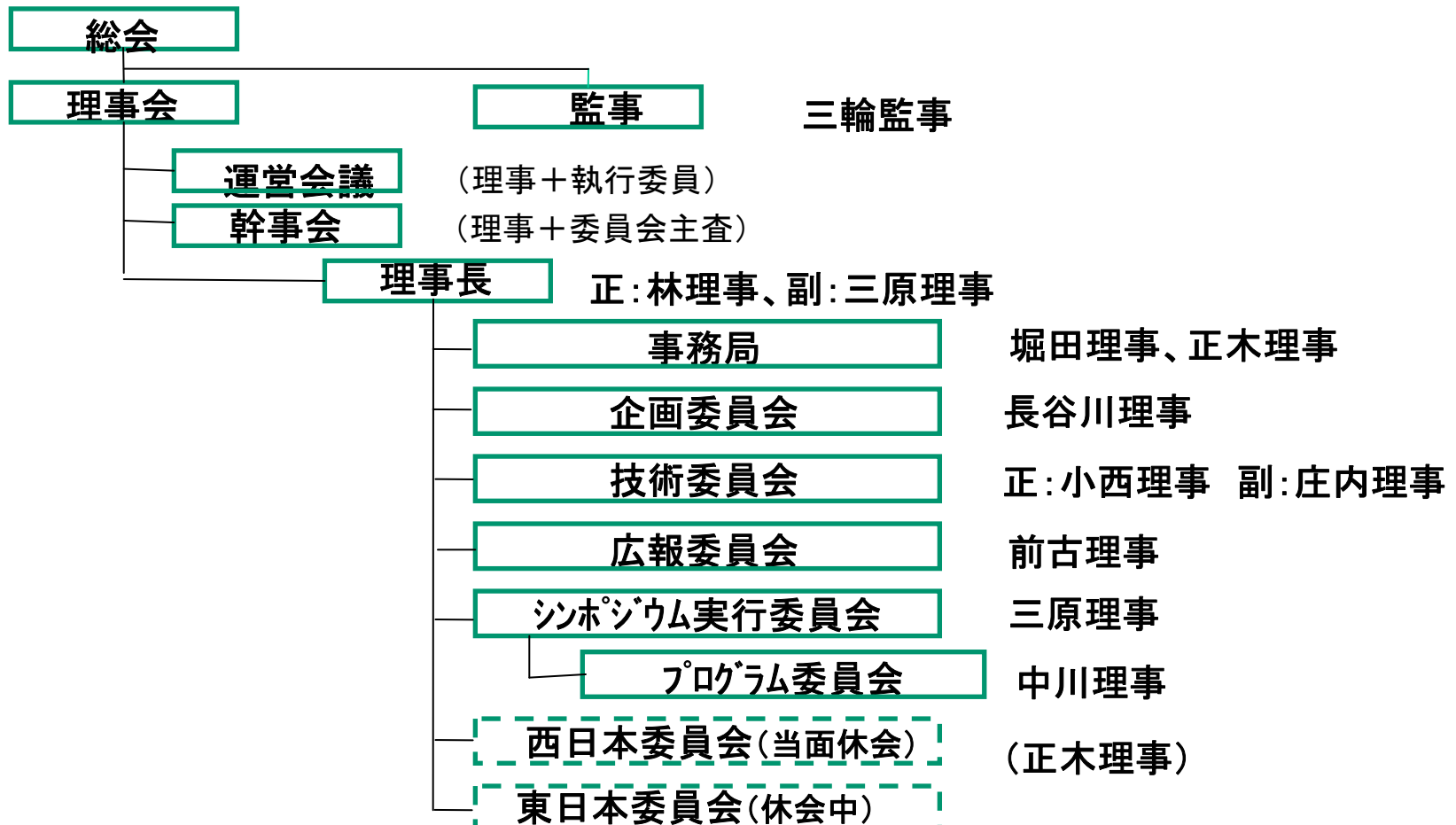
- 1) 「知財創造」研究分科会 (主査：長谷川公彦氏)
活動成果等はポスターセッションAで紹介
- 2) 「ビジネス・経営TRIZ」研究分科会
(主査：吉澤郁雄氏)
- 3) 「教育とTRIZ」研究分科会 (主査：中川 徹氏)
<http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/jlinksref/JTS/JTS-EducationSG.html>
- 4) 「ITとソフトウェア」研究分科会 (主査：庄内 亨氏)

これら研究会の活動については、
協会コーナーの掲示をご覧くださいとともに、
ご不明点等は協会関係者に気軽お問い合わせ下さい。

NPO法人日本TRIZ協会の現況と運営組織

1. 会員数：正会員：107名（2009）、92名（2010）、120名（2011見込み）
賛助会員：1社（2009）、3社（2010）、3社（2011）

2. 運営組織：（2011年6月30日現在）



第7回シンポジウム準備組織および協力者(1)

全体統括 : 林 利弘

準備組織 (シンポジウム実行委員会)

実行委員会委員長 : 三原 祐治

実行委員 (事務局) : 堀田 政利、大内 亜佐子(日本TRIZ協会)

(会場担当) : 今崎 直樹、坪倉 紀子

(海外対応) : 正木 敏明

プログラム委員長 : (正) 中川 徹、(副) 小西 慶久

プログラム委員 : 澤口 学、有田 節男

(ポスターセッション担当) : 福嶋洋次郎

開催準備協力者 : 海野 誠、庄内 亨、菊池 史子、片岡 敏光、
長谷川 公彦、国友 秀世、前古 護、大田 哲也、
池田 理、津波古 和司

デザイン協力 : 後藤 一雄 (リコー)

【敬称略、順不同】 【所属記載なしは日本TRIZ協会の運営会議メンバー】

第7回シンポジウム準備組織および協力者(2)

通訳・スライド翻訳協力者

通訳者：小西 慶久、黒澤 慎輔（個人）、石濱 正男、津波古 和司
上村輝之(アイディエーション・ジャパン)、
上村祐介(アイディエーション・ジャパン)

和訳：坪倉 紀子、菊池 史子、今崎 直樹、海野 誠、池田 理、
国友 秀世、黒澤 慎輔（個人）、高原 利生（個人）、
石田 厚子（日立コンサルティング）

英訳：津波古 和司

【敬称略、順不同】 【所属記載なしは日本TRIZ協会の運営会議メンバー】

謝辞

今回のシンポジウム開催に当たり、
会場の使用を快諾戴き、
また種々の便宜を図って戴いた
東芝の関係の皆様
厚く御礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました

「日本TRIZ協会」未加入の方の加入と
会員の皆様の継続、
よろしくお願い致します